

グローバル化と労働組合

～仲間の暮らしを守るために

ゲストスピーカー 日産労連事務局長 高倉 明

〈自己紹介〉 主な経歴

- ・国際基督教大学(ICU)卒業後、日産自動車入社(中近東・アフリカ営業)
- ・全日産労組常任委員(専従)に選出され、日産労連国際局、自動車総連: 事務局次長・国際局長・産業政策局長、全日産労組: 中央執行委員長 等

1. 日産労連・自動車総連の組織概要 <P3-①,②,③>

- ・日産労連 :1955年結成・409労組・15万4千名
- ・自動車総連:1972年結成・1137労組・74万1千名

2. 自動車産業のグローバル化

- 1903年 フォード設立(1908年「T-Model」大量生産開始)
- 1904年 国産第1号(蒸気車)以降第2次世界大戦まで国防産業
- 1908年 GM設立
- 1932年 自動車・部品の輸入関税引き上げ(国産化政策)
- 1933年 日産設立、1937年:トヨタ設立
- 1945年 戦後GHQの統制下で、トラック・乗用車製造(4-5万台)
- 1952年 日産と英Austin技術提携(欧米から技術を導入)
- 50年代 トラックを中心に輸出(1952年: IMF、1955年: GATTに加盟)
- 1955年 国民車育成要綱、1961年: 割賦販売法
- 60年代 高度経済成長(モータリゼーションの開花)
国産化・輸入規制に対応して、途上国を中心に海外進出
- 1969年 自動車の資本自由化決定(海外企業との資本・業務提携)
- 1971年 米国:新経済政策発表(ニクソンショック)
- 1978年 日本:自動車輸入関税撤廃
- 1981年 米国向け乗用車・輸出自主規制
- 1985年 プラザ合意(円高・ドル安へ)
- 1996年 フォード、マツダ持ち株比率を33.4%に拡大
- 1999年 日産とルノーが資本を含む幅広い提携
(ルノー出資比率:44.8%、日産出資比率:15%)

①自動車産業の動向 <P4,5-④>

②世界の自動車保有台数: 約9億台(内日本:約8,000万台)

③世界の自動車販売台数: 約6千万台/年

④日本の自動車生産台数: 約2千万台/年(国内50%:海外50%)

⑤グローバル化の変遷

輸出 → 技術・業務提携 → 現地生産 → 資本提携

* 「企業の海外進出に際して」の自動車総連3原則

- ・ 我々の雇用を確保し、生活に影響を及ぼさないこと
- ・ わが国の自動車産業の健全な発展に寄与すること
- ・ 相手国の雇用や経済社会の発展に貢献すること

* 海外生産拠点における組織化問題

⑥グローバルスタンダードの台頭 <P6-⑤,⑥>

- ・ ステークホルダー、コーポレートガバナンス
- ・ 成果主義型人事制度

3. 日産自動車のグローバル化 <P6-⑦>

①日産・ルノーのアライアンス(同盟)、シナジー効果

* 労組の要請事項

- ・ 抜本的な経営改善策の策定と労使による目標の共有
- ・ 目標の達成責任の明確化
- ・ 労使関係の重視

②ゴーン改革

③労組の対応

- ・ IMF日産世界自動車協議会
- ・ 全米自動車労組(UAW)

4. グローバリゼーションと国際労働運動

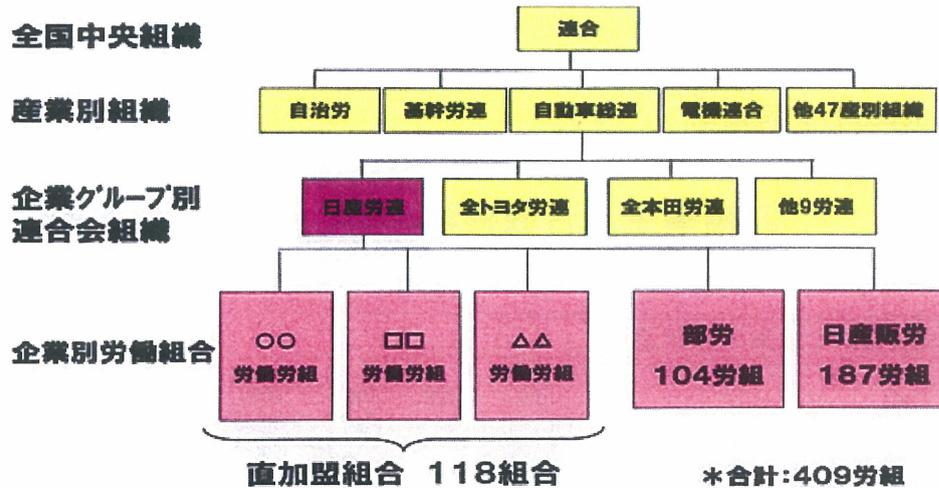
①国際労働組合総連合(ITUC)と国際産業別労働組合組織(GUF)

② 国際労働機関(ILO)と経済協力開発機構・労組諮問委員会(OECD-TUAC)

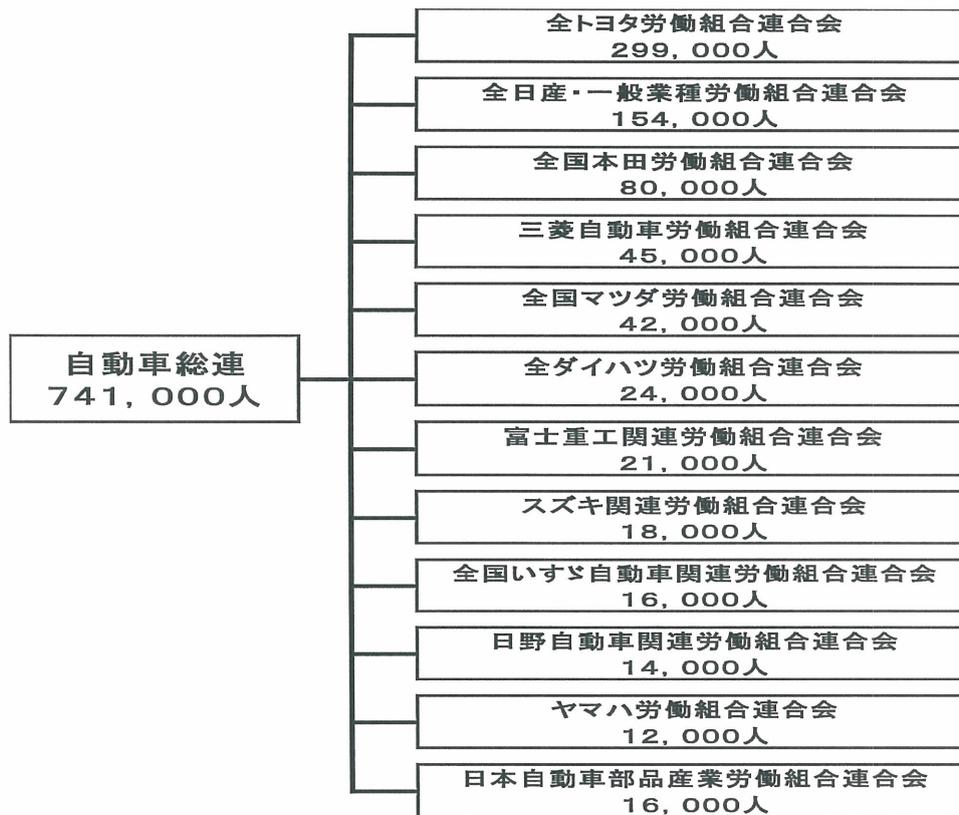
③企業の社会的責任(CSR、UN・GC、ISO、IFA、SA、SRI)

④欧州労使協議会(EWC)

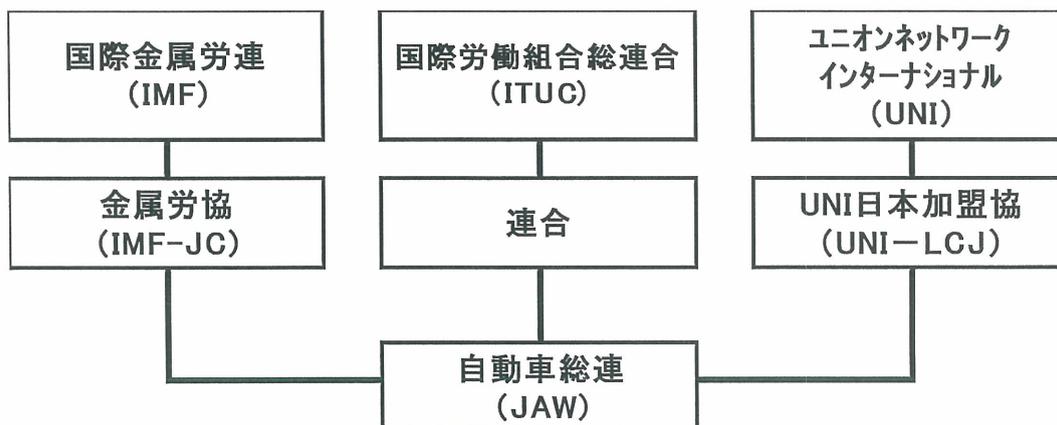
①日産労連の組織形態



②自動車総連 加盟組織



③自動車総連の国内・国際連帯

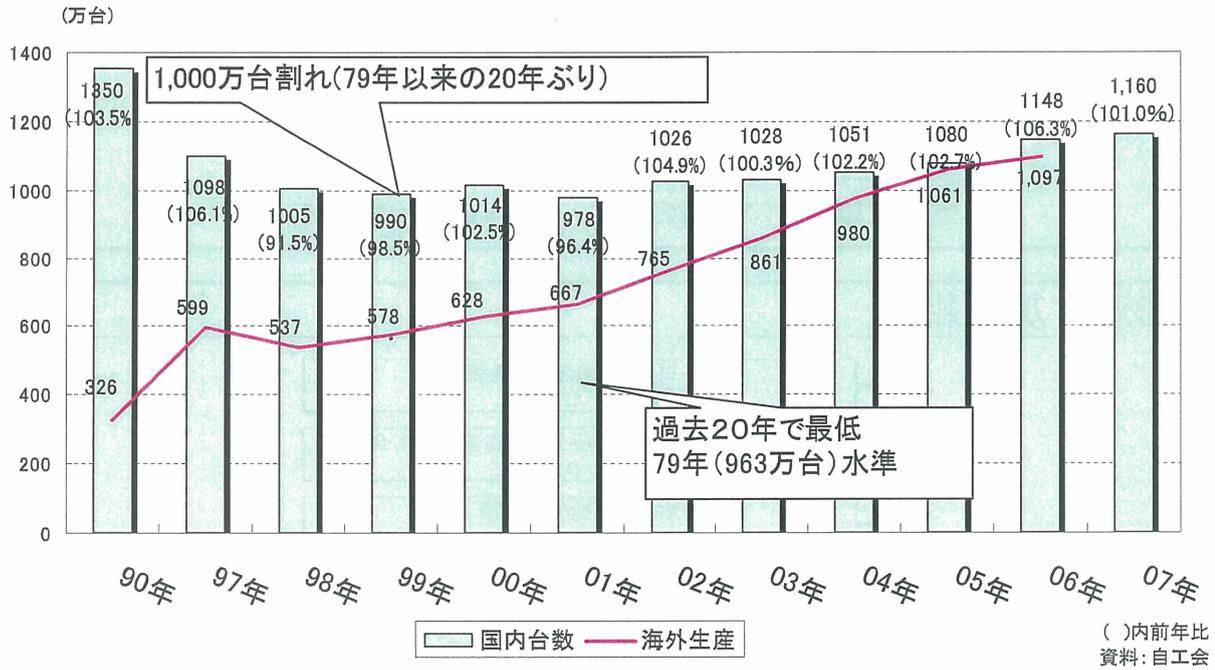


④自動車産業の動向

<生産>

- ・07年は6年連続1,000万台を超えた。

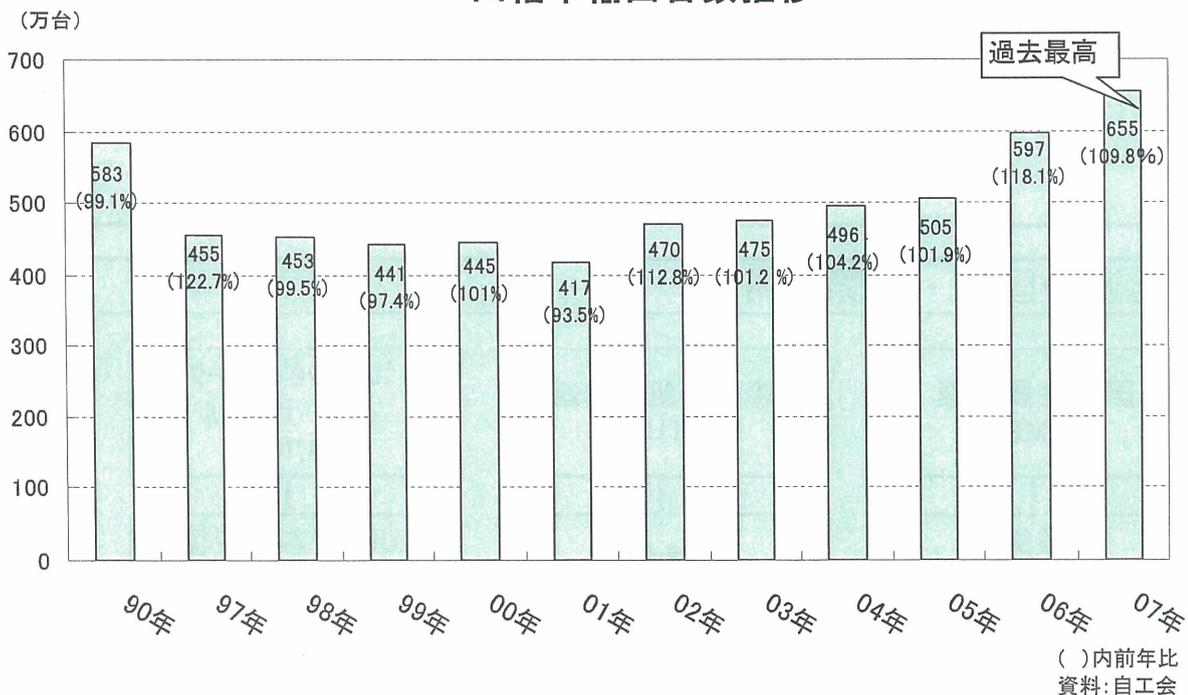
四輪車生産台数推移



<輸出>

- ・07年は7年連続前年を上回り過去最高。

四輪車輸出台数推移

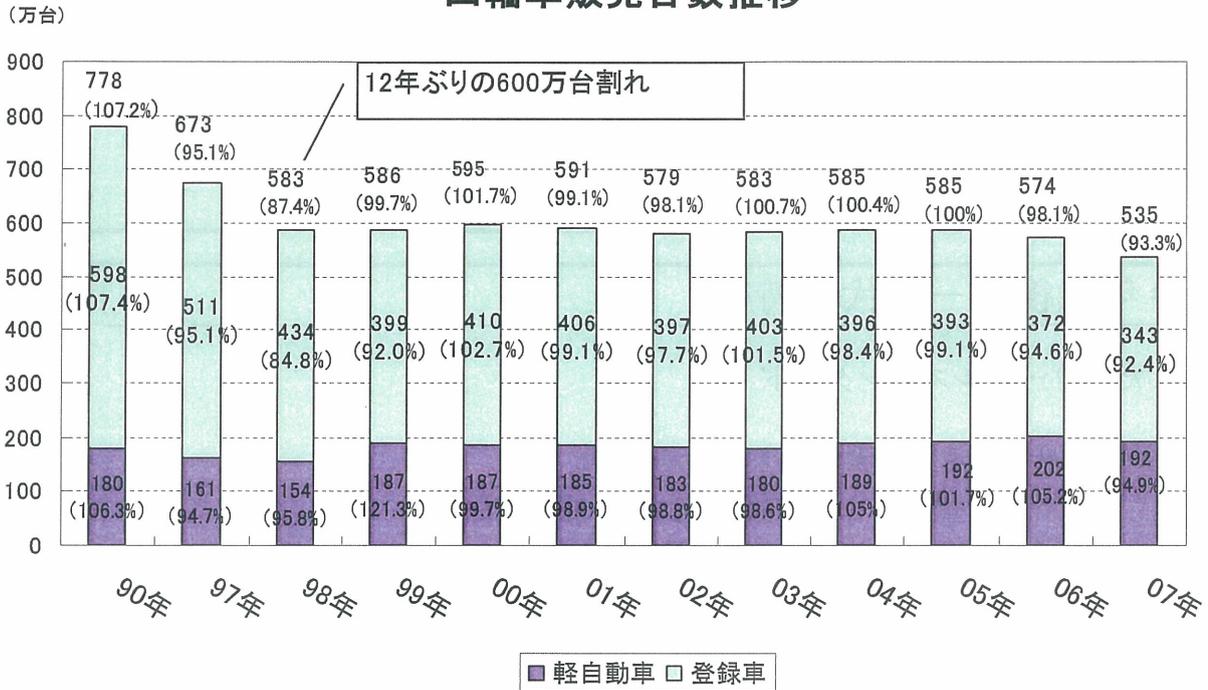


④自動車産業の動向

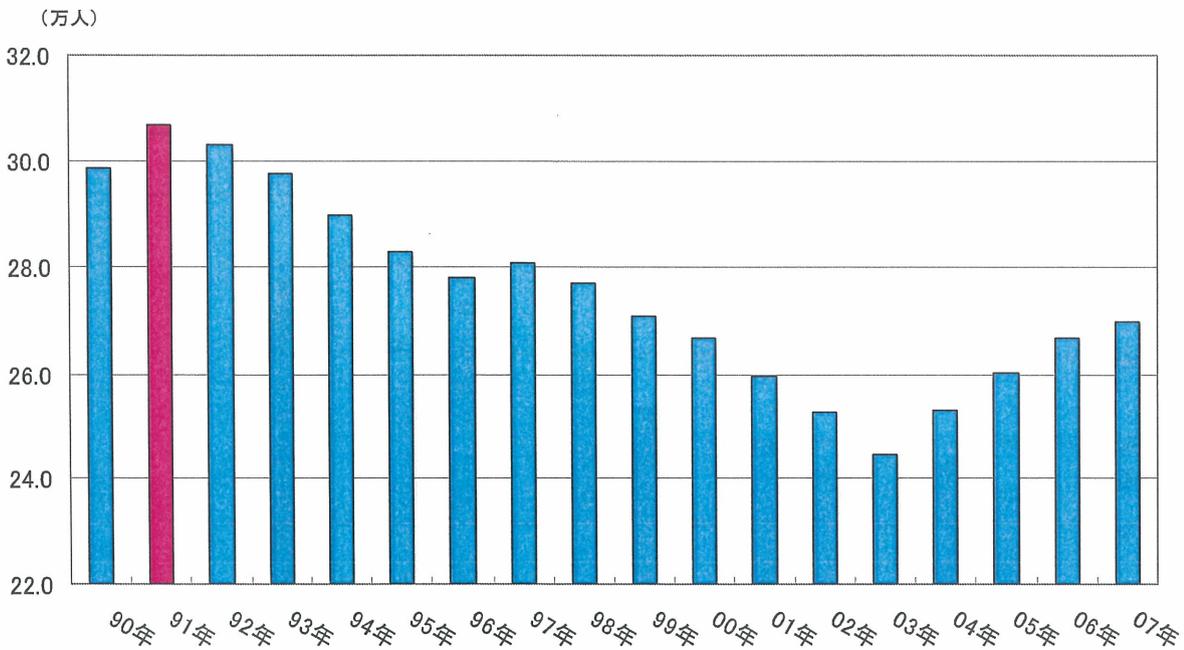
<国内販売>

・07年は前年を下回った。軽自動車も減少。

四輪車販売台数推移



<自動車製造12社の従業員数の推移>



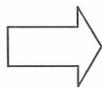
⑤ グローバル化の荒波の中で破綻した企業

- ・ 山一証券 ('97/11)
- ・ 北海道拓殖銀行 ('97/11)
- ・ 大倉商事 ('98/8)
- ・ 日本長期信用銀行 ('98/10)
- ・ トーアスチール ('98/10)
- ・ 日本債券信用銀行 ('98/12)
- ・ 長崎屋 ('00/2)
- ・ 第一ホテル ('00/5)
- ・ そごう ('00/7)
- ・ マイカル ('01/9) 他

⑥ 1990年代後半－時代の特徴

➤ 急進展したグローバルスタンダード

- ・ 株主権（株主の企業支配権＝役員を選出権、株主代表訴訟）重視・・・93年商法改正（現会社法）
- ・ ROE（株主資本利益率）重視、株主配当重視
- ・ 国際会計基準（連結決算重視、時価評価、退職給付会計、開示主義）の導入・・・99年度決算から順次適用
- ・ 透明・公正な意思決定
- ・ 社員個人の自己責任の重視



《対置する日本型基準》

- ・ あいまいな意思決定、ルール
- ・ 密室での根回し、事前の折衝
- ・ 人本主義



⑦ 日産自動車 グローバル販売台数

